

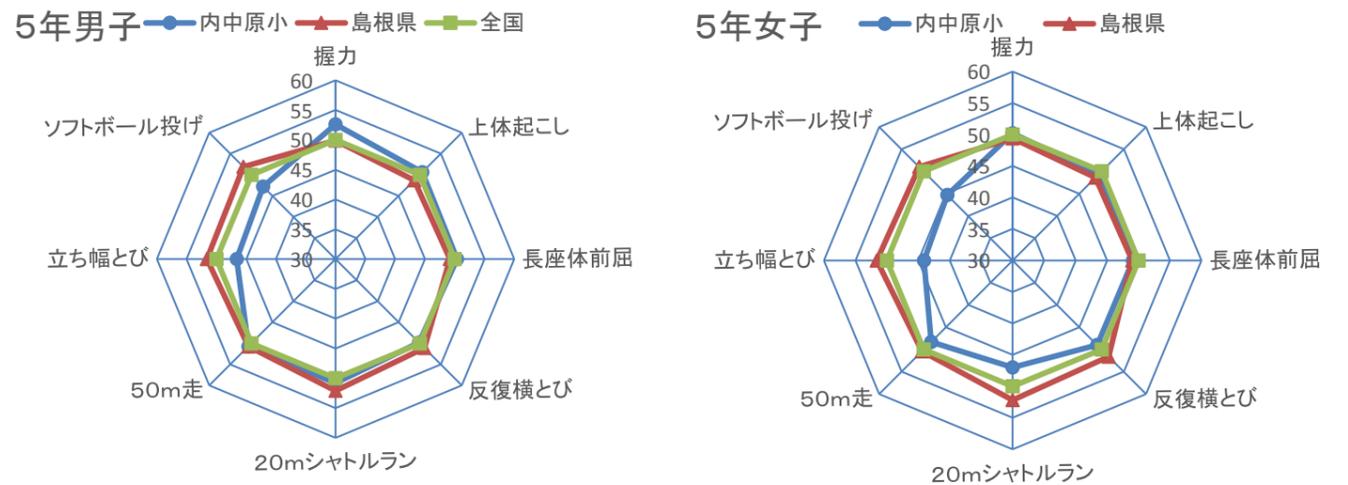
(1)児童の体力の現状

5年男子
 ○上体起こし、長座体前屈、握力についてのポイントが全国・県の平均と比べて高い。特に握力のポイントは全国・県の平均と比べて2.6ポイント高い。
 ●ソフトボール投げ、立ち幅跳びのポイントが全国・県の平均よりも2~3ポイント低い。

5年女子
 ○握力の結果が全国・県の平均よりも高い。
 ●男子と同様にソフトボール投げ、立ち幅跳びのポイントが全国・県の平均よりも5ポイント以上低い。また全体的に全国・県の平均よりも低い。

他学年全体
 ○男子の「体育の授業が楽しい」「運動が好き」の項目において肯定的な回答が9割を超えている。
 ○朝食をきちんと食べている児童がほとんどでほぼすべての学年が95%を超えている。
 ●女子は「体育の授業が楽しい」「運動が好き」の項目において8割は超えたが、9割には届いていない。

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



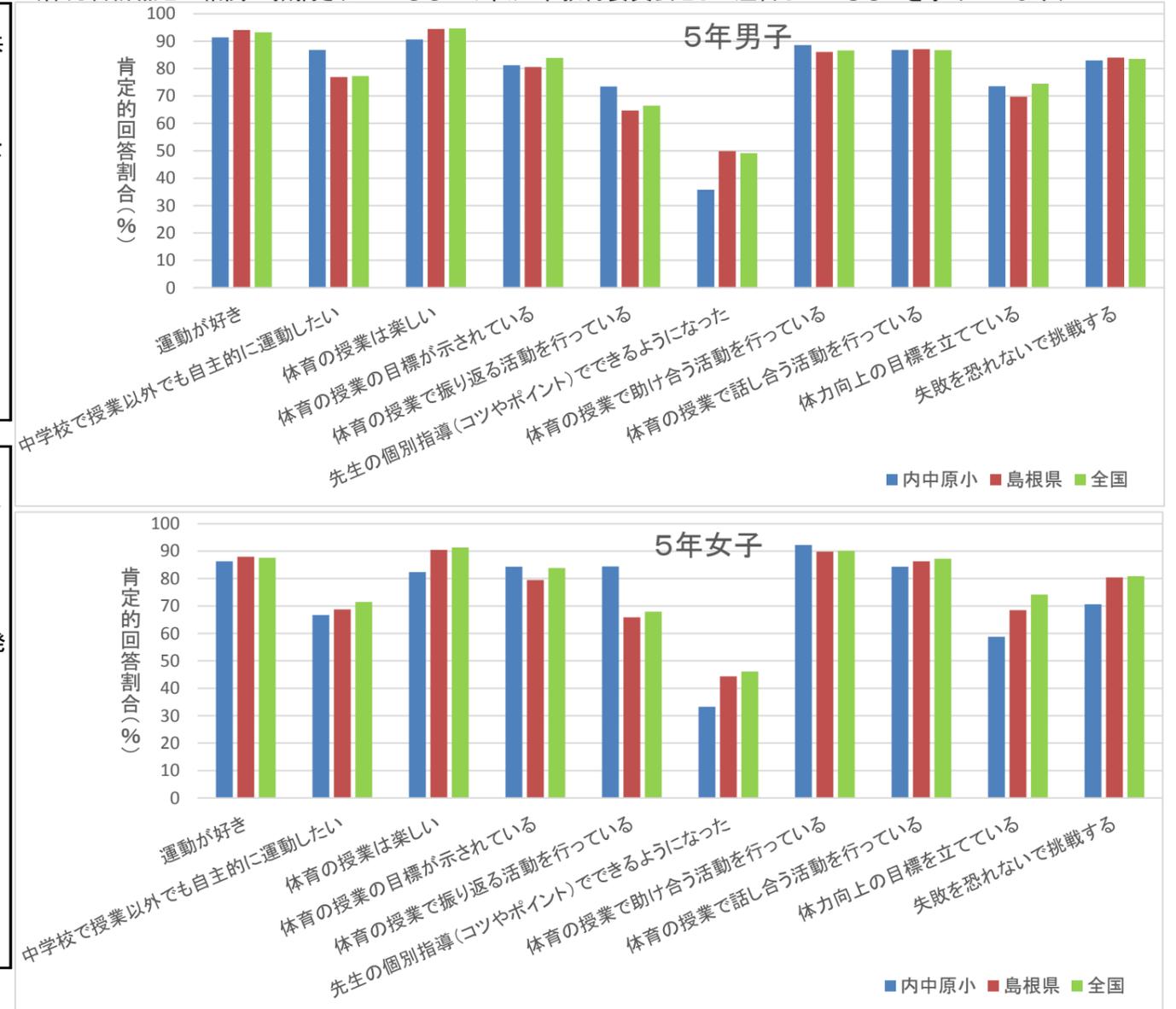
(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

教員の指導法、授業力向上について
 ○長期休業中に体育の研修に参加した教員から、研修の内容や指導法について、職員会を通じて情報を共有することができた。

持久力の向上について
 ●昨年度に引き続き、階段の1段とばしゾーンを継続したが、5年生の「20mシャトルラン」では、男女ともに全国・県の平均よりも低い。

意識調査について
 ○男子において9割を超える児童が「体育の授業は楽しい」という項目に肯定的な回答をしている。
 ●女子においては「体育の授業は楽しい」という項目に肯定的な回答をしている児童は8割を超えるものの、9割は届いていない。

(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果 (体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(3)令和2年度の取組【対策】

①学校における取組
 ・今後も「めあて」「ふりかえり」の取り組みを継続し、授業の充実を図る。
 ・体育指導に関する研修会参加を促し、研修会に参加した教員から研修会の内容や指導法について共有する場を設定する。

②地域や家庭との連携による取組
 ・「メディアコントロールウィーク」をきっかけにして、メディアとの関わりや生活習慣、家庭での過ごし方の啓発を継続する。特に「しませ家庭の日」の週については「ノー宿題デー」をきっかけとし、各学級で過ごし方の啓発を行う。

③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
 ・保護者との連携をとりながら、より良い生活習慣の確立や、給食指導での食育に取り組む。

調査実施者数(人) 1年(男子47・女子54) 2年(男子35・女子49) 3年(男子65・女子37)
 4年(男子61・女子53) 5年(男子52・女子46) 6年(男子50・女子64)